

問 これからの人口の推移は

答 子ども、高齢者ともに減少



よしのぶ 議員
ささき 佐々木 慶信
(令和新风会)

問 10年後、20年後の0歳から14歳の人口は。また5年度と比べての減少率は。また65歳以上の人口は。同様に5年度と比較してどのくらいの増加率か。

佐藤町長 現在の人口は1267人であるが、0歳から14歳は、令和17年783人(減少率38・2%)、令和27年550人(減少率56・6%)の見込みである。また、現在の65歳以上人口は5775人であるが、17年4628人(減少率19・9%)、27年3879人(減少率32・8%)の見込みである。



いつまでも残したい山田の原風景

問 少子高齢対策の取り組みは

答 経済的支援を中心に取り組む

問 6年度以降の少子化と高齢化に向けた取組は。

町長 出産・子育て応援給付金や保育料及び学校給食費の無償化等に加え、妊産婦通院費助成及び不妊に係る治療費助成を拡充し、経済的支援の充実を図っていく。

高齢化に向けた取組では、生きがいづくりや介護予防事業の推進のほか、新たに補聴器購入費助成やグループホーム家賃助成、介護職員初任者研修などを実施し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援していく。

問 県無形民俗文化財指定の経緯周知は

答 ホームページ、広報紙で周知

問 山田の神幸行事が指定の見通しだが、指定までの経緯と指定された場合の町民への周知方法は。

松葉教育長 県文化財保護審議会(岩手県教育委員会諮問機関)の無形文化財担当の委員の発議により指定候補物件となった。その後令和6年2月2日に開催された県文化財保護審議会で「地域的な特色がある行事」との評価を受けた。今後正式に指定される見通しとなっている。周知方法については、町ホームページや広報紙への記事の掲載のほか、県においても、ホームページ上で周知を図る。

その他の質問

- ◆ 通学路の街灯の設置基準は
- ◆ 新しい小学校の図書整備計画は
- ◆ フリースクール設置についての見解は
- ◆ 郷土芸能保存のための喫緊の課題は